

令和5年度第3回坂井市子ども・子育て会議 議事概要 (※)

日時	令和5年12月22日(金) 午後7時～
場所	坂井健康センター1階ホール
出席者	委員：石川会長、武田副会長、伊藤委員、久保田委員、西村委員、岡崎委員、 中嶋委員、伊東委員、橋本委員、小林委員、片山委員、勇上委員、盛岡委員 事務局：森瀬部長、栗原課長、佐藤課長、浦課長、結城参事、 河原参事、細川課長補佐、矢尾参事、井上課長補佐
欠席者	なし
議題	(1) 第3期坂井市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査について(最終協議) (2) 令和6年度認定こども園の実施について
その他	今後の会議日程
資料	資料1-1 ニーズ調査票(就学前児童の保護者用)最終案 資料1-2 ニーズ調査票(小学生の保護者用)最終案 資料2 私立幼保連携型認定こども園 しろの子認定こども園の概要

※大雪警報の発令に伴い交通の安全確保を図るため、会場での会議を中止し、書面での開催に変更。多数の委員から意見提出があったため、これをもって過半数以上の出席とみなす。

1. 開 会

2. 会長あいさつ

3. 議題 (書面開催)

- (1) 第3期坂井市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査について(最終協議)
<資料1-1、資料1-2>
- (2) 令和6年度認定こども園の実施について
<資料2>

4. その他

5. 副会長あいさつ

6. 閉会

【参考】 書面開催による委員からの質問と事務局の回答

(1) 第3期坂井市子ども・子育て支援事業計画策定のためのニーズ調査について（最終協議）
<資料1-1、資料1-2>

<資料1-1>について

【会長】

7ページ、問13-5「平日の現在利用している教育・保育事業の感じ方」の選択肢（3）について、表現を修正したほうが保護者の反応を把握しやすいと思う。

20ページ、問26-4「ICT機器の利用」の選択肢について、就学前の子どもが対象なので「動画」もあるとよいと思う。

22ページ、問31「今後の出産予定」については、質問の仕方が難しいところである。出産する・しないは当人の自由という考え方もあるので、前向きな質問の方がベターかなと思う。質問・選択肢を修正したらどうか。

【事務局】

ご意見のとおり修正する。

【委員】

回答方法が紙ベースとインターネット、どちらかの選択制になっているので、調査に応じやすい。

【委員】

14ページ、問23「平日の放課後の過ごし方」の選択肢（10）について、これを選択した際のアンケートがない。

【事務局】

この調査は子ども・子育て支援事業計画を策定するためのニーズ調査であるため、選択肢（10）を選んだ際の後追い調査までは求めている。その代わりに、他課では関連する個別計画があるため、その計画の策定や見直し時期において、検討していただけたらと考えている。

【委員】

19ページ、問25-7「育児休業と職場復帰」について、質問の文章が分かりにくい。時系列にして修正したほうがよいと思う。

【事務局】

ご意見のとおり修正する。

【委員】

回答方法が、インターネットであろうと用紙での記入方法であろうと、一旦、回答を中断できる点はよいと思う。

3ページ、問8「子育てに影響する環境」について、幼稚園、保育園など6つの選択肢から選ぶことになっているが、回答に迷う人がいるかもしれない。

【事務局】

1ページ末尾に、幼稚園や保育園などの用語の定義を記載することにしており、そこでご理解いただけるものと考えている。

【委員】

10ページ、問15「休日の教育・保育事業の利用希望」について、選択肢（1）は土曜日となっているが、希望者に対して実施しているため、選択肢は不要ではないか。

【事務局】

現時点でのニーズ量を把握するためと、過去の調査との経年比較も行いたいため、修正せずこのままで調査を実施したい。

【委員】

13ページ、問20・21「地域子育て支援拠点施設の利用」について、回答する対象者が限定されると思う。未就園児だけでなく、すべてのお子さんを対象とするのなら、質問の表現や選択肢を修正したほうがよいのではないか。

【事務局】

単に現時点での利用状況を数値的に把握するとともに、過去の調査との経年比較も行いたいため、修正せずこのままで調査を実施したい。

【委員】

5ページ、問12-1・12-2「月当たりの就労時間」について、選択肢に「フルタイム（160時間程度）」を追加したほうがよいと思う。

【事務局】

国の手引きではそこまでの例示はなく、選択肢も「120時間以上」となっている。過去の調査との経年比較も行いたいため、修正せずこのままで調査を実施したい。

【委員】

20ページ、問26-5「ICT機器を利用する際の注意事項」について、選択肢に「フィルタリングの有無」についても加えたほうがよいと思う。

【事務局】

ご意見のとおり修正する。

【委員】

インターネットで回答する場合のイメージがあれば、後で拝見したい。

【事務局】

委員の方々にどのようにして提供するか、検討する。

【委員】

回答者に施設の無料券など謝礼があれば、回収率がアップすると思う。

【事務局】

今後の検討課題としたい。

【委員】

インターネットからの回答ができるようになったのは、とてもよいと思う。

1 ページ、問3-1「一番下のお子さんの生年月」について、和暦よりも西暦のほうが慣れている保護者は多いのではないかと思う。

【事務局】

ご意見のとおり修正する。

<資料1-2>について

【会長】

3 ページ、問10-1「子育てに関し、気軽に相談できる相手先」の選択肢(6)について、「小学校の先生」があってもよいのではないか。

12 ページ、問25「今後の出産予定」については、就学前児童の保護者用の質問と同じ趣旨である。質問・選択肢を修正したらどうか。

15 ページ、問28-4「ICT機器の利用」の選択肢についても、就学前児童の保護者用の質問と同様、「動画」があるとよい。なお、選択肢(9)は、本人が回答するため不要と考える。

【事務局】

ご意見のとおり修正する。

【委員】

就学前児童の保護者用の調査票と同様、回答方法が紙ベースとインターネット、どちらかの選択制になっているので、調査に応じやすい。

6 ページ、問13-1「平日の現在利用している放課後児童クラブの感じ方」の選択肢(6)について、分かりやすく文言を加えてみてはどうか。

【事務局】

ご意見のとおり修正する。

【委員】

6 ページ、問 1 3 「平日の放課後の過ごし方」の選択肢（1 0）については、就学前児童の保護者用の質問と同じで、これを選択した際のアンケートがない。

【事務局】

就学前児童の保護者用の調査と同様、子ども・子育て支援事業計画を策定するためのニーズ調査であるため、選択肢（1 0）を選んだ際の後追い調査までは求めていない。

【委員】

1 5 ページ、問 2 8 - 4 「ICT機器の利用」の選択肢（9）については、不要と考える。

【事務局】

ご意見のとおり修正する。

【委員】

5 ページ、問 1 2 - 1 ・ 1 2 - 2 「月当たりの就労時間」については、就学前児童の保護者用の質問と同様、選択肢に「フルタイム（1 6 0 時間程度）」を追加したらどうか。

【事務局】

就学前児童の保護者用の調査と同様、国の手引きではそこまでの例示はなく、選択肢も「1 2 0 時間以上」となっているため、修正せずこのままで調査を実施したい。

【委員】

8 ページ、問 1 5 - 1 「病児・病後児保育施設の認知度」について、利用できるお子さんの年齢等は、まだ周知が足りないように感じる。せっかく調査をするので、ニーズに答えるだけでなく、知ってもらえることができるとよいと思う。

【事務局】

質問文の後に注釈として説明書きを加えることとする。また、引き続き、市民への周知に努めていきたい。

【委員】

1 5 ページ、問 2 8 - 5 「ICT機器を利用する際の注意事項」について、就学前児童の保護者用の調査と同様、選択肢に「フィルタリングの有無」についても含めたほうがよいと思う。

【事務局】

ご意見のとおり修正する。

【委員】

就学前児童の保護者用の調査と同様、インターネットで回答する場合のイメージがあれば、後で拝見したい。

【事務局】

委員の方々にどのようにして提供するか、検討する。

【委員】

就学前児童の保護者用の調査と同様、回答者に施設の無料券など謝礼があれば、回収率がアップすると思う。

【事務局】

今後の検討課題としたい。

【委員】

就学前児童の保護者用の調査と同様、インターネットからの回答ができるようになったのは、とてもよいと思う。

1 ページ、問3-1「一番下のお子さんの生年月」について、就学前児童の保護者用の調査と同様、和暦よりも西暦のほうが慣れている保護者は多いのではないかと思う。

【事務局】

ご意見のとおり修正する。

(2) 令和6年度認定こども園の実施について

<資料2>

各委員からの意見なし